

## 平成21年5月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年12月24日

上場会社名 日本オラクル株式会社  
 コード番号 4716 URL <http://www.oracle.co.jp/corp/IR/>  
 代表者 (役職名) 代表執行役 社長 最高経営責任者 (氏名) 遠藤 隆雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役 専務 最高財務責任者 (氏名) 野坂 茂  
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月13日 配当支払開始予定日 平成21年2月9日

上場取引所 東

TEL 03-6834-6666

平成21年2月9日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年5月期第2四半期の業績(平成20年6月1日～平成20年11月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第2四半期	57,988	—	17,672	—	17,797	—	10,367	—
20年5月期第2四半期	54,386	18.8	17,597	12.5	17,866	13.0	10,512	7.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年5月期第2四半期	81.58		81.56	
20年5月期第2四半期	82.74		82.69	

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
21年5月期第2四半期	114,859		80,508	69.8			630.72	
20年5月期	119,042		83,153	69.7			652.44	

(参考) 自己資本 21年5月期第2四半期 80,156百万円 20年5月期 82,915百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年5月期	—	70.00	—	103.00	173.00
21年5月期	—	70.00	—	—	—
21年5月期(予想)	—	—	—	103.00	173.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年5月期の業績予想(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	121,000	6.0	39,200	1.2	39,400	0.7	23,100	0.2	181.76

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

[(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年5月期第2四半期 127,091,571株 20年5月期 127,087,571株

② 期末自己株式数 21年5月期第2四半期 3,426株 20年5月期 2,843株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年5月期第2四半期 127,087,089株 20年5月期第2四半期 127,054,958株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日において入手可能な情報から判断された一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

当年度は四半期報告制度の導入初年度であるため、「1. 経営成績に関する定性的情報」および「2. 財務状態に関する定性的情報」における前年同四半期増減額および増減率は、参考として記載しております。

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年11月30日、以下「当第2四半期」という。）におけるわが国経済は、米国の金融危機に端を発する景気の急減速により、国内外の需要が急激に縮小し、企業収益の悪化が顕著となりました。このような環境において、企業は設備投資の抑制を進めており、情報サービス分野においても、IT投資の延期や見直しを行うお客様が増加するなど厳しい環境となりました。

このような状況の中、当社は基礎となるデータベース、様々な情報システムを連携させるフュージョン・ミドルウェア、そして企業活動に必要な様々な機能を提供するビジネス・アプリケーションまでを一貫して提供できるソフトウェアベンダーとして、お客様のビジネス上の課題を解決し、成長を支援する製品やサービスを提供してまいりました。

平成20年10月には、販売パートナーとの連携の強化、成長領域の市場開拓、お客様視点に立った営業体制の確立、製品事業の強化を目的として、全社的な組織変更を伴う改革に着手し、抜本的な営業体制の見直しと人的リソースの再配置を進めてまいりました。また、平成20年9月には新本社ビル「オラクル青山センター」に事業拠点の集約を完了し、経営効率の向上に注力するとともにコスト削減にも取り組んでまいりました。

## (1) 売上高

売上高は57,988百万円となり、前第2四半期累計期間（以下、「前年同期」）比3,602百万円、6.6%増となりました。各部門別の概況は以下のとおりです。

## 【ソフトウェア関連】

ソフトウェア関連部門の売上高は49,003百万円となり、前年同期比2,227百万円、4.8%増となりました。ソフトウェア関連部門は、以下に記載の(i)ソフトウェアプロダクトおよび(ii)アップデート&プロダクトサポートの2部門で構成されます。

## (i) ソフトウェアプロダクト

新規のソフトウェアライセンスの販売を行う、ソフトウェアプロダクトの売上高は20,217百万円（前年比1,688百万円、7.7%減）となりました。データベース&ミドルウェアおよびビジネス・アプリケーションの各部門の状況は次のとおりです。

## (A) データベース&amp;ミドルウェア

売上高は17,037百万円（前年同期比2,098百万円、11.0%減）となりました。

データベース管理ソフトおよびミドルウェアの新規ライセンス販売を主力とする当部門では、「コスト削減」「見える化」「効率化」など厳しい経済環境においても導入効果を実感できるソリューションの提供により、顧客ニーズの開拓、販売パートナーとの関係強化や既存のお客様からの追加投資需要の掘り起こしに注力してまいりました。この結果、機動的な財務政策や経営管理を可能とする統合業績管理（EPM）製品やビジネスインテリジェンス（BI）製品、ならびにシステム運用の効率化を実現する管理ソフトウェア製品が好調に推移したものの、企業のIT投資抑制の影響を受け、前年同期を下回る結果となりました。

## (B) ビジネス・アプリケーション

売上高は3,180百万円（前年同期比410百万円、14.8%増）となりました。

当部門では、ERP、CRM、EPM、PLMや業界に特化したソリューションを提供する製品をそろえ、企業の経営課題を解決し、成長を支援する様々なソリューションを提供できる体制を強化してまいりました。この結果、当第2四半期においては主力である財務会計や人事等のERPに加え、企業経営の質を高めるEPM、ならびにPLMや物流等、現業に密着し、投資効果を具体的かつ迅速に見込める投資に対する需要を引き出してまいりました。

- \* ERP：統合基幹業務管理
- \* CRM：顧客情報管理
- \* EPM：企業パフォーマンス管理
- \* PLM：製品ライフサイクル管理

## (ii) アップデート&amp;プロダクトサポート

売上高は28,785百万円（前年同期比3,915百万円、15.7%増）となりました。

製品をご利用いただいているお客様に更新権や技術サポートの提供を行っている当部門では、厳しい経済環境下において、既存の業務システムの運用を安定的に継続していきたいというお客様のニーズを確実に取り込み、引き続き高い契約率と更新率を維持し、さらに新たな買収製品等への更新権や技術サポートの提供も加わったことで堅調に推移いたしました。

## 【サービス関連】

サービス関連部門の売上高は8,985百万円となり、前年同期比1,375百万円、18.1%増となりました。サービス関連部門は、以下に記載の(i)アドバンスト・サポート、(ii)エデュケーションサービス、(iii)コンサルティングサービスの3部門で構成されます。

## (i) アドバンスト・サポート

売上高は1,352百万円となり、前年同期比437百万円、47.8%増となりました。

当社が顧客の情報システムの保守・運用管理を行う「Oracle On Demand」ならびに個々の顧客に合わせた先進的かつ予防的なサポートを提供する「Advanced Customer Services」ともに、システムの安定的な稼働と運用負荷の軽減を実現できる上、費用対効果も大きいことが顧客から評価され、案件数は着実に増加いたしました。これらの結果、当部門は大幅な増収となりました。

## (ii) エデュケーションサービス

売上高は1,389百万円となり、前年同期比150百万円、12.1%増となりました。

買収製品等の新しい研修プログラムの提供を継続し、企業の技術者育成需要を確実に取り込んだことに加え、製品利用者向けのサービスも強化したことで、堅調に推移いたしました。

## (iii) コンサルティングサービス

売上高は6,244百万円となり、前年同期比788百万円、14.4%増となりました。

ビジネス・アプリケーション製品の販売が好調に推移していることを受け、これら製品の導入支援業務が主力となり、当部門も堅調に推移いたしました。

## (2) 営業利益

営業利益は17,672百万円となり、前年同期比74百万円、0.4%増となりました。

ソフトウェアプロダクト部門の売上が減少した一方、人件費を中心とした原価率の高いサービス部門の売上が増加したことや買収製品等の売上増加に伴い、ロイヤルティ金額が増加したことにより、売上原価率が上昇いたしました。また、買収製品等を取り扱う、日本オラクルインフォメーションシステムズ株式会社からの出向受入者の増加による人件費や平成20年7月末に竣工いたしました本社ビルの減価償却費の増加を主因として、販売費及び一般管理費が増加し、営業利益率は30.5%に低下いたしました。が、売上増により営業利益額は増加いたしました。

## (3) 経常利益

経常利益は17,797百万円となり、前年同期比68百万円、0.4%減となりました。

営業外収益の有価証券受取利息が、有価証券の運用残高の減少および運用環境の変化により減少いたしました。

## (4) 四半期純利益

四半期純利益は10,367百万円（前年同期比145百万円、1.4%減）となりました。

本社移転に伴う原状回復工事の引当金戻入額を特別利益として、旧賃貸オフィスビル関連の固定資産除却損等を特別損失として計上いたしました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、114,859百万円（平成20年5月期末比4,183百万円減）となりました。純資産は80,508百万円（平成20年5月期末比2,645百万円減）となりました。

キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動の結果得られた資金は、12,844百万円となりました。これは、税引前四半期純利益（17,629百万円）の計上、売上債権の減少（2,661百万円）などによるキャッシュ・インの一方で、法人税等の支払（8,123百万円）を行なった結果によるものです。

投資活動の結果得られた資金は、6,417百万円となりました。これは、有価証券の運用については、金融市場の急速な変化に対応するため償還金の一部を再投資せず手元現金としたこと、また一部を本社建物、土地等の固定資産の取得（27,746百万円）に充当した結果によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、13,077百万円となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

以上の結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物は38,127百万円（平成20年5月期末比6,184百万円増）となりました。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、景気が急激に減速する中で、企業収益の減少により、設備投資の抑制はさらに厳しいものとなることが予想されます。このような状況を踏まえ、当社は平成20年12月24日に平成21年5月期の業績予想の修正を公表し、当決算短信には当該修正後の業績予想を掲載しております。

当社は、現在の経済環境下においてお客様が求める効果を迅速に実現できる製品やソリューションをパートナー企業の皆様とも協力して積極的に提案し、また、原価や販売管理費の抑制努力を継続し、成長領域のビジネス拡大による収益力の向上を目指します。

### [業績予想に関する留意事項]

本資料に含まれている業績予想等、歴史的事実以外の事業については、本資料の発表日において入手可能な情報から判断された一定の前提に基づき日本オラクル株式会社が策定したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

## 4. その他

## (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ・簡便な会計処理

該当事項はありません。

## ・四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## ②会計方針の変更

有形固定資産(コンピュータ類を除く)の減価償却方法については、従来、定率法によっておりましたが、第1四半期会計期間より定額法に変更いたしました。

この変更は、自社建物を取得し本社移転したことに伴い、減価償却方法の見直しを行った結果、変更後の減価償却方法による方が、安定的に収益を稼得するアップデート・プロダクトサポート売上が年々増加し全売上に占める割合が高まっている事業環境下において、費用収益をより合理的に対応させることになると判断し、行ったものであります。この変更による影響額は軽微であります。

## (追加情報)

第1四半期会計期間より取得いたしました自社建物及び関連附属設備等につきましては定額法を採用することとしました。

## (3) 部門別売上高の状況

区 分	平成20年5月期 第2四半期		平成21年5月期 第2四半期			平成20年5月期	
	金額 百万円	構成比 %	金額 百万円	構成比 %	対前期比 %	金額 百万円	構成比 %
データベース&ミドルウェア	19,135	35.2	17,037	29.4	△11.0	40,753	35.7
ビジネス・アプリケーション	2,770	5.1	3,180	5.5	14.8	6,421	5.6
ソフトウェアプロダクト小計	21,905	40.3	20,217	34.9	△7.7	47,174	41.3
アップデート&プロダクト・サポート	24,870	45.7	28,785	49.6	15.7	50,263	44.0
ソフトウェア関連計	46,775	86.0	49,003	84.5	4.8	97,438	85.4
アドバンスト・サポート	915	1.7	1,352	2.3	47.8	2,101	1.8
エデュケーションサービス	1,239	2.3	1,389	2.4	12.1	2,551	2.2
コンサルティングサービス	5,456	10.0	6,244	10.8	14.4	12,021	10.5
サービス計	7,610	14.0	8,985	15.5	18.1	16,674	14.6
合 計	54,386	100.0	57,988	100.0	6.6	114,112	100.0

(注) 金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

## 5. 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,631	27,445
受取手形及び売掛金	14,065	16,726
有価証券	14,483	49,456
商品	2	4
その他	3,143	3,706
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	65,324	97,336
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	16,876	392
土地	26,057	—
その他（純額）	1,946	17,558
有形固定資産合計	44,880	17,951
無形固定資産		
投資その他の資産	51	7
その他	4,618	3,762
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,602	3,747
固定資産合計	49,534	21,706
資産合計	114,859	119,042
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,590	4,720
未払金	3,298	2,942
未払法人税等	7,453	8,295
前受金	16,607	16,051
賞与引当金	1,050	1,528
その他の引当金	227	565
その他	1,031	1,785
流動負債合計	34,259	35,888
固定負債		
その他	91	—
固定負債合計	91	—
負債合計	34,350	35,888
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,290	22,282
資本剰余金	33,728	33,720
利益剰余金	24,170	26,892
自己株式	△17	△14
株主資本合計	80,171	82,880
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14	34
評価・換算差額等合計	△14	34
新株予約権	351	238
純資産合計	80,508	83,153
負債純資産合計	114,859	119,042

## (2)【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年11月30日)
売上高	57,988
売上原価	25,415
売上総利益	32,573
販売費及び一般管理費	14,901
営業利益	17,672
営業外収益	
受取利息	22
有価証券利息	87
その他	36
営業外収益合計	146
営業外費用	
その他	21
営業外費用合計	21
経常利益	17,797
特別利益	
本社移転費用引当金戻入額	194
特別利益合計	194
特別損失	
固定資産除却損	360
投資有価証券売却損	1
特別損失合計	361
税引前四半期純利益	17,629
法人税等	7,262
四半期純利益	10,367

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

		当第2四半期累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益		17,629
減価償却費		598
株式報酬費用		113
貸倒引当金の増減額(△は減少)		△0
賞与引当金の増減額(△は減少)		△478
その他の引当金の増減額(△は減少)		△143
受取利息及び受取配当金		△119
投資有価証券売却損益(△は益)		1
固定資産除売却損益(△は益)		367
本社移転費用引当金戻入額		△194
売上債権の増減額(△は増加)		2,661
たな卸資産の増減額(△は増加)		1
その他の流動資産の増減額(△は増加)		584
仕入債務の増減額(△は減少)		△129
未払金の増減額(△は減少)		213
前受金の増減額(△は減少)		556
その他の流動負債の増減額(△は減少)		△754
その他		11
小計		20,918
利息及び配当金の受取額		48
法人税等の支払額		△8,123
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>12,844</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出		△22,470
有価証券の償還による収入		57,500
有形固定資産の取得による支出		△27,746
無形固定資産の取得による支出		△48
投資有価証券の売却による収入		3
差入保証金の差入による支出		△913
差入保証金の回収による収入		2
その他		91
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>6,417</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入		15
自己株式の取得による支出		△3
自己株式の売却による収入		1
配当金の支払額		△13,090
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>△13,077</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		6,184
現金及び現金同等物の期首残高		31,942
現金及び現金同等物の四半期末残高		38,127



当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考」

(要約) 前中間損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間会計期間 (自平成19年6月1日 至平成19年11月30日)	
	金額	百分比
I 売上高	54,386	100.0
II 売上原価	23,579	43.4
売上総利益	30,806	56.6
III 販売費及び一般管理費	13,209	24.2
営業利益	17,597	32.4
IV 営業外収益	274	0.5
V 営業外費用	5	0.0
経常利益	17,866	32.9
VI 特別利益	—	—
VII 特別損失	—	—
税引前中間純利益	17,866	32.9
法人税、住民税及び事業税	6,832	12.6
法人税等調整額	521	1.0
中間純利益	10,512	19.3